

「グループ協議」 ～話す・聞く・まとめる・発表する

テーマ 「学校事務の適正化について考える」

～共同・連携実施グループだからこそできる対策や

取り組みについて考えてみよう～

【グループ協議・フリートーク・発表について】

- 事前課題をもとに話し合ってください。代表4グループには、グループが思う「グループ1番の推し（対策・取り組み）・推しポイント」について発表していただきます。
- 進行役は全員の発表が時間内に終われるよう（時間を意識して）進行します。
- 「フリートーク」の時間は原則他のグループの見学の時間とします。
- 自分が気になったグループには付箋にコメントを記載し、そのグループにお渡しください。（模造紙に直接貼付しても結構です。）その後、自分のグループで意見交換や情報の共有を行いますので、メモなどして覚えておくようにしてください。
- 記録者はそれらの話し合いを基に「グループの1番の推し（対策・取り組み）」と「推しポイント」について、用紙に記入してください。
- 代表グループの発表者は、記録を参考にしながら簡潔にまとめて発表します。
（発表グループは、4グループのみ）

※ 各グループのテーブルにラベルシールが置いてあります。

「支部名」「学校名」「氏名」を記入して、左胸に貼ってください。

I グループ協議

各グループで話し合ってみよう （準備物：模造紙・付箋・ペン）

- ① 進行、記録、発表者、ホスト役2名、計時係を決める。
 - ・進行（グループ協議の進行をする）
 - ・記録（グループ協議でだされたグループの「1番の推し（対策・取り組み）」と「推しポイント」についてまとめる）
 - ・発表者（グループ代表として発表する）
 - ・ホスト役（フリートークの時間に他のグループ員との対話、説明や質問への回答をする）
 - ・計時係（話し合いや発表が時間内に終われるように時間の計測をする）
- ② 作成してきた事前課題をグループ員に配付する。
- ③ 事前課題を基に自分の1番の推し対策や取り組みについて発表・説明しながら記載してきた付箋を模造紙の中央に貼付する。

- ④ 模造紙のレイアウトや分類については（区切り・線・文字の書き込み）などは、各グループ自由とする。（グループごとに違って良い）
協議進行の仕方やまとめ方についてもグループに一任する。
- ⑤ 協議の中で出された意見や新たな対策や取り組み、または、気づいた点や大事な点なども随時模造紙に記載していく。

2 フリートークの時間（ワールドカフェスタイル）

※見学 10 分・グループでの情報共有 10 分

- ① グループ見学に行く。（各自付箋とペンを持参）
個人で自由に見学して良い。グループ単位で行動する必要はない。
- ② 見学先のホスト役やグループ員と自由に話し合っても良い。
- ③ 感想・共感・気づきなどを付箋に記載してホスト役に渡すか、模造紙に貼付する。コメントについての規程はない。「見ました！」「同感」程度でも良い。
なお、付箋には必ず「学校名」も記載する。
- ④ 各グループで取り上げられていた「対策」や「取り組み」の中で良かった点や気づいた事について、自分のグループで共有する時間を取るため、メモを取るなどして覚えておける準備をする。
- ⑤ 自分のグループで情報交換をする。
- ⑥ 他のグループ員からのコメントも含め、自分のグループの 1 番の推し（対策・取り組み）と推しポイントについて再度話し合い、発表の準備をする。

3 グループ発表（代表 4 グループ×発表時間 2 分＝8 分）

- ① 代表グループが、グループの 1 番の推し（対策・取り組み）について、その推しポイントも含めながら要約して発表する。（発表制限時間厳守）
- ② フロアーとの交流時間
代表 4 グループの発表が終了後、グループから発表された対策等についての質疑やもっと深掘りして聞いてみたいことや意見などについて、フロアーとの交流の時間とする。
- ③ 研修のまとめ

グループ協議

テーマ「学校事務の適正化について考える」

事前課題 「学校事務の適正化のために共同・連携実施でできることは何かを探ろう」
～ 共同・連携実施グループだからこそできる対策や取り組みについて考えてみよう ～

・グループメンバーからでた意見

・グループ発表の内容(グループで1番に推す対策(取り組み)とそのポイント)